開発支援事業

継続事業 東ティモール
農業用水改善事業
一地球にも女性にもやさしい点滴灌漑を使って、貧困削減と女性のエンパワメントを目指す一

活動海域: エルメラ県アッサベ郡の4村内12集落
事業期間: 2020年3月31日〜2024年2月13日まで
事業規模: 当年度支出額41,453千円（総事業規模: 約144,000千円）
主な支援者: 外務省、支援組織、個人

12グループ
農民グループ（集落）の数

675㎡
1年次に点滴灌漑を設置した野菜苗床面積

72人
設備維持管理委員会メンバー数
（各グループ6人、うち半数は女性）

課題
活動海域のエルメラ県アッサベ郡では、多くの人々が家計農業を営んでいますが、農業生産性は低く、生産状況は脆弱なため、貧困度の高い地域となっています。景気に左右され、天候に左右され、様々な要因がありますが、乾季の水不足も農業を妨げる大きな要因です。雨季の天候によっても、農業を多様化し、年間を通じて作物を栽培できる環境への改善が求められています。そのためには、農業用水設備の整備を進め、乾季の水不足を解

活動内容
本事業では、2021年12月に1年次を終了し、2022年2月より2年次を開始。1年次
では5つの農民グループ、2年次では7つの農民グループをそれぞれ組織し、農業用水設備の整備と維持管理にかかる様々な技術研修や実践の場を提供しました。具体的には、1年次グループは点滴灌漑とスプリンクラー設備を増設し、2年次グループは設置の達成に着手しました。加えて、ジェンダー平等に向けた意識改革を促進するため、ブリフィック・スピードミーティング、リーダーシップ研修とジェンダー分析ワークショップも実施しました。2年次では、農業用水問題を対象とする活動のうち、農業の参加が男性を上回る２等間数であり、2年次に入り女性の参加率の低迷が懸念になりました。一方で、農民グループメンバー間の参加比率については男性が高めの状況を維持しています。特に農民グループにおいて、農業の活動参加への理解が深まりつつあることがその背景として考えられます。